

海老沢達郎の教養講座

第8回 日本の平均賃金、世界と比べてみると (2021年11月15日)

今、衆議院選挙の最中に、この原稿を書いております。衆議院選挙では賃金の問題が話題になっています。そこで今回は、「日本の平均賃金、世界と比べてみると」と題してお話し致します。皆さん、日本の平均賃金がいくらくらいで、世界と比べるとどうなのかお分かりでしょうか。日本は、GDP世界第3位の経済大国で、G7のメンバーでもありますので、日本の平均賃金はかなり高いものと思っているのではないのでしょうか。OECDの2020年のデータを基にして、お話を進めていきたいと思えます。OECD（経済協力開発機構）はヨーロッパ諸国を中心に日本・アメリカ・カナダ等を含め38カ国の先進国が加盟する国際機関です。各国の物価を考慮した購買力平価（PPP）ベースで換算した米ドルを使用し、OECD加盟35カ国を下記の表のようにランク付けいたしました。また、分かり易くするための参考資料として、1ドル110円換算の日本円を付記しました。



表1 OECD加盟国の平均賃金1位から35位

順位	国名	米ドル (PPP)	日本円 (単位：万円)
1	アメリカ	69,392	763
2	アイスランド	67,488	742
3	ルクセンブルク	65,854	724
4	スイス	64,824	713
5	オランダ	58,828	647
6	デンマーク	58,430	643
7	ノルウェー	55,780	614

8	カナダ	55,342	609
9	オーストラリア	55,206	607
10	ベルギー	54,327	598
11	ドイツ	53,745	591
12	オーストリア	53,132	584
13	アイルランド	49,474	544
14	イギリス	47,147	519
15	スウェーデン	47,020	517
16	フィンランド	46,230	509
17	フランス	45,581	501
18	ニュージーランド	45,269	498
19	韓国	41,960	462
20	スロベニア	41,445	456
21	イスラエル	39,322	433
22	日本	38,515	424
23	スペイン	37,922	417
24	イタリア	37,769	415
25	ポーランド	32,527	358
26	リトアニア	31,811	350
27	エストニア	30,720	338
28	チェコ	29,885	329
29	ラトビア	29,826	328
30	ポルトガル	28,410	313
31	ギリシャ	27,207	299
32	チリ	26,729	228
33	ハンガリー	25,409	279
34	スロバキア	23,619	260
35	メキシコ	16,230	179
	OECD 全体	49,165	541

Earnings and wages—Average wages—OECD Data を参考にして作成

上記の表1のように、アメリカ、アイスランド、ルクセンブルク、スイスの4カ国が平均賃金6万ドル台で、平均賃金が非常に高い国と言えるでしょう。次に、オランダ、デンマーク、ノルウェー、カナダ、オーストラリア、ベルギー、ドイツ、オーストリアの8カ国の平均賃金が5万ドル台で、平均賃金が高い国

と言えます。アイルランド、イギリス、スウェーデン、フィンランド、フランス、ニュージーランド、韓国、スロベニアの 8 カ国の平均賃金が 4 万ドル台で、OECD の中では、中間的なクラスの国だと思います。4 万ドル未満の国は下位グループに属する国と言っているでしょう。日本は 2015 年に韓国にも抜かれ、第 22 位（35 カ国中）で、G7 諸国の中では第 6 位です。OECD 加盟国以外の国を入れれば、順位は更に下がり、もはや、日本は平均賃金では、先進国とは言えないかもしれません。皆さんは驚いたかもしれませんが、悲しいかな、これが現実なのです。

現在の日本の平均賃金が低いのは理由があるのです。そのことを説明するために、1995 年から 2020 年までの G7 諸国とオーストラリア・韓国の平均賃金（米ドル、PPP）の推移を見ていきたいと思います。

表 2 G7 諸国とオーストラリア・韓国の平均賃金の推移

国名	1995 年	2000 年	2010 年	2015 年	2020 年
アメリカ	48,206	55,366	61,048	63,845	69,392
ドイツ	43,853	45,584	47,054	51,172	53,745
オーストラリア	40,974	45,201	51,957	53,636	55,206
カナダ	40,167	44,108	50,024	52,968	55,342
日本	37,934	38,365	38,085	37,265	38,515
イタリア	37,245	38,175	41,194	39,878	37,769
フランス	36,677	38,782	44,325	45,680	45,581
イギリス	34,493	40,207	48,863	46,647	47,147
韓国	28,240	29,238	36,140	38,143	41,960

Average annual wages--OECD. Stat を参考にして作成

OECD の統計によれば、日本とイタリアだけが、平均賃金が 1995 年からの 26 年間で殆ど増えていないのが、表 2 でよく分かります。日本の平均賃金は 1995 年から僅か 581 ドル（63,910 円）の上昇、イタリアも同様に 524 ドル（57,640 円）の上昇となっています。一方、アメリカは 21,186 ドル（2,330,460 円）の大幅な上昇、韓国も 13,720 ドル（1,509,200 円）の大幅な上昇となっております。その他の国も全て大幅な上昇です。これは衝撃的な数字ですね。日本はバブルが崩壊してから、殆ど平均賃金が上がっていないので、2020 年の日本

の平均賃金が低いということです。お分かりになったでしょうか。

今度は角度を変えて、22年間に亘る日本の大卒初任給を調べてみました。厚生労働省の「賃金構造基本統計調査（初任給）」によると、

1997年（平成8年）	➡➡➡➡	191,900円
2000年（平成12年）	➡➡➡➡	195,100円
2006年（平成18年）	➡➡➡➡	196,300円
2010年（平成22年）	➡➡➡➡	197,400円
2016年（平成28年）	➡➡➡➡	203,400円
2019年（令和元年）	➡➡➡➡	210,200円

とあります。これは男女平均の初任給です。大卒初任給は、ここ22年間で18,300円の上昇で、22年で割ると1年で約832円の上昇となります。この上昇率を皆さんいかが思いますか。22年間で僅か18,300円しか上がっていないのです。大卒の初任給も殆ど上昇していないことが分かりました。皆さんの初任給や子供さんの初任給と比べていかがですか。バブル崩壊後の30年は、大変厳しい時代であったことが、日本の大卒初任給の面からもお分かりになったと思います。

イギリスの経済誌の *The Economist* が1986年から Big Mac Index（ビッグマック指数）を発表しております。これは、世界で販売されているビッグマックは、ほぼ全世界で同一の品質で販売されているということで、「世界各国の通貨が米ドルに対して、過小評価（undervalued）されているか、過大評価（overvalued）されているかを見極めるために使用されている経済指標」です。因みに、*The Economist* が2021年7月21日に発表した Big Mac Index（BMI）によれば、日本円は米ドルに対し、37.2%過小評価されている結果が出ております。韓国ウォンが29.2%、英ポンドが15.9%、オーストラリアドルが15.2%、カナダドルが6%、それぞれ米ドルに対し過小評価（undervalued）されております。一方、スウェーデンクローナが9.6%、ノルウェークローネが11.5%、スイスフランが24.7%、それぞれ米ドルに対し過大評価（overvalued）されている結果が出ております。

今回、興味深い試みをしてみました。ビッグマック指数（BMI）と切り離して、単に、ビッグマックが各国で、いくらで販売されているのかを現地通貨のビッグマックの価格を調べ、それを各国通貨の米ドル為替レート（11月10日の

為替レート使用) から、ビックマックの価格を、分かり易くするために、米ドルで表記することにいたしました。下記の表は日本を含め 8 カ国・地域のビックマックの価格を高い順にランク付けいたしました。

表 3 Big Mac (ビッグマック) 価格の国際比較と平均賃金との関係

国名	米ドルに換算した場合の価格	各国通貨での価格	平均賃金:米ドル (PPP)
アメリカ	5.66	5.66 米ドル	69.392
カナダ	5.42	6.77 カナダドル	55.342
ユーロ圏	4.95	4.27 ユーロ	——
オーストラリア	4.85	6.55 豪ドル	55,206
イギリス	4.75	3.49 英ポンド	47,147
韓国	3.91	4,600 ウォン	41.960
日本	3.47	390 円	38.515

各国の通貨は、The Economist, The Big Mac index, JUL21ST2021 を参考

試みの結果ですが、アメリカのビックマック 1 個の価格は、5 ドル 66 セント (1 ドル 110 円で換算すると 623 円) ですが、日本では 390 円で買えることとなります。ビックマック 1 個で物価水準が分かることはないですが、表 1 の各国の平均賃金 (表 3 の右側) と比較すると、ビックマックの価格が高い順と、平均賃金の高い国の順が完全に一致致しました。言えることは、平均賃金が高ければ物価は高くなり、平均賃金が低ければ、当然のことながら物価は安くなるというのが、一般的であると思います。そうでなければ生活が成り立ちません。皆さん、日本が、この 8 カ国・地域の中でビックマックの価格が一番安いことに驚いたのではないのでしょうか (日本より価格が高い国はまだたくさんあります)。バブル崩壊後 30 年に亘って、日本経済は停滞し、平均賃金も殆ど上がらない状態であることが、現在の日本の厳しい現状を物語っているのではないのでしょうか。